

第6期事業報告

(2016年9月1日から2017年8月31日まで)

〔活動方針〕

- (1) 中部産政研の基本スタンスに基づき、健全な企業労使関係と、社会、経済の発展に寄与する事業を行うとともに、公益法人として事業の成果を可能な限り社会に広く公表発信していく。
- (2) 事業活動の重点を絞り、現在の組織、規模をフルに活用しながら、効率的でメリハリの効いた事業を行うことにより、中長期的に持続可能な財団運営を目指す。
- (3) 公益財団法人としての法人運営の定着化を図る。

〔活動報告〕

■公益事業1 調査研究活動 年度研究

テーマ：「一人ひとりが力を発揮するための職場風土と職場環境」
～「当事者意識」の向上が、職場力を高める～

〔趣旨〕

少子高齢化が進み労働力不足が深刻になり、日本経済全体が縮小していくことが懸念される中、これからも日本経済を維持・発展し、企業も成長・発展していくためには、これまで以上に個人個人の持てる力を発揮してもらうことが必要である。職場環境、職場風土は、職場で働く人に大きな影響を与えるものであり、一人ひとりが力を発揮するために職場環境、職場風土は重要である。

そこで、本調査研究では、職場の実態、従業員の意識などについて調査を行い、職場風土・職場環境の現状を把握し、一人ひとりが力を発揮できる職場づくりに向けた労使の取り組みについて提言する。

〔研究期間〕 2016年9月～2017年12月

〔研究体制〕

今野 浩一郎 学習院大学経済学部 名誉教授
上野 隆幸 松本大学総合経営学部 教授
三浦 孝之 中部産政研 主任研究員

[専門委員] (2017年8月末現在)

野島 一浩	中部電力株式会社	人事部労務・業務G グループ長
濱口 誠	中部電力労働組合	本部副執行委員長
原田 章吾	名古屋鉄道株式会社	人事部労政担当 課長補佐
石原 英児	名古屋鉄道労働組合	中央執行副委員長
水島 江美	トヨタ自動車株式会社	人事部企画室労政・制度G 主幹
森田 健介	トヨタ自動車労働組合	職場活動局 局長
永谷 賢一	アイシン精機株式会社	人事部企画G
山中 恭平	アイシン労働組合	職場活動部 部長
高橋 悟	株式会社豊田自動織機	人事部労政室コミュニケーション推進G S S
石川 雅浩	豊田自動織機労働組合	コンプレッサ刈谷支部長
山上 遼	株式会社ジェイテクト	人事部人事室厚生グループ
水野 幹	ジェイテクト労働組合	刈谷支部
松田 修司	全トヨタ労働組合連合会	経営政策局 部長

[研究経過]

2016年9月～2017年2月	進め方検討、アンケート作成
2017年3月～4月	アンケート実施
2017年5月～	アンケート集計・分析
2017年6月	研究主査と事務局との打合せ
2017年10月	研究主査と事務局との打合せ

専門委員会

第1回	2016年10月7日	研究企画趣旨説明・意見交換
第2回	2016年12月2日	調査計画書の説明・意見交換
第3回	2017年2月3日	調査計画書の修正案、アンケート案、 およびアンケート展開実施要領について意見交換
第4回	2017年8月28日	アンケート分析結果の総括・共有、 および報告書作成に向けた意見交換

[報告会及び報告書発行]

研究成果の報告会として、2017年11月に中部産政研公開セミナーを開催し、2017年12月に報告書を発行予定。

■公益事業2 教育啓蒙活動 公開セミナー

開催日・場所	テーマと講師	参加数	内 容
2016年 11月28日 名鉄 ニューグラン ドホテル	「介護と仕事の両立」 学習院大学 特別客員教授 松原 光代 氏 三菱UFJリサーチ& コンサルティング 共生社会室長 矢島 洋子 氏	144名	第5期年度研究テーマの研究成果報告会を「公開セミナー」として開催し、広く社会に発信した。介護と仕事の両立の現状、従業員の意識等をアンケート調査を基に、また介護をしながら働き続けるために、会社や従業員が取り組むことなどについて報告。



■公益事業2 教育啓蒙活動 産政塾

第28期産政塾は塾生33名が自らの企画・運営にもとづいて活動。2017年8月に終了。

開催日・場所	内 容
2017年 1月16日 愛知県 名古屋市	開塾式 ■テーマ：殻の外へ踏み出そう ・塾長講話 ・グループディスカッション、発表 ※昼食懇親会・夕食懇親会も実施
2017年 4月28日 愛知県 豊田市	第1回塾生企画（Cチーム） ■テーマ：障がい・高齢者体験から「思いやる行動を学ぶ」 ～ここをユニバーサルデザインに～ ・講演：ここをユニバーサルデザイン （全国ユニバーサルサービス連絡協議会 紀 薫子 代表） ・グループワーク（障がい者・高齢者体験） ・グループディスカッション、発表 ・夕食懇親会
2017年 5月26日 兵庫県 神戸市	第2回塾生企画（Dチーム） ■テーマ：新たな発想・企画に興味を持ってもらうには ・講演：超〈集客力〉革命 アートの経済効果 （兵庫県立美術館 蓑 豊 館長） ・グループワーク（現代アートの魅力を伝える） ・グループディスカッション、発表 ・夕食懇親会
2017年 6月16日 愛知県 豊田市	第3回塾生企画（Aチーム） ■テーマ：“前向きさ”を引き出すためには ・講演：常勝チームに向けた組織改革 （トヨタ自動車硬式野球部 宮市 達也 GM 兼部長） ・グループワーク（ストロータワー製作） ・グループディスカッション、発表 ・夕食懇親会
2017年 6月30日 東京都 豊島区	第4回塾生企画（Eチーム） ■テーマ：自信を持った決断をするために～ブレない自分になる～ ・講演：「死」という究極の局面に思いを巡らせることで「自分にとって最も大切なもの(考え方)」を知る （浄土真宗高田派 なごみ庵 浦上 哲也 住職） ・法話：「自分らしく」生きること （真言宗豊山派 金剛院 野々部 利弘 住職）] ・グループワーク（ブレない自分の実践） ・グループディスカッション、発表 ・夕食懇親会

開催日・場所	内 容
2017年 7月14日 、15日 長崎県 佐世保市	第5回塾生企画（Bチーム） ■テーマ：やり切る力、粘り強さを身につける ～自分で限界を決め、ただこなすだけになっている仕事への 取り組み方の見直し～ ・講演：ハウステンボス再建について （ハウステンボス(株)営業統括本部国内営業部 柚木 達也 部長） ・文化財体験(無窮洞、梅ヶ枝酒造) ・グループワーク(ドミノ倒し体験) ・グループディスカッション、発表 ・夕食懇親会
2017年 8月7日 愛知県 名古屋市	閉塾式 ・チームディスカッション、発表 ・個人ワーク、発表 ・塾長講話 ・卒業証書授与 ・夕食懇親会

※塾誌は10月に発行

開塾式



講話：佐々木 塾長



第28期産政塾 一同

第1回塾生企画



講演：紀 薫子 代表



視覚障がい者体験



高齢者体験

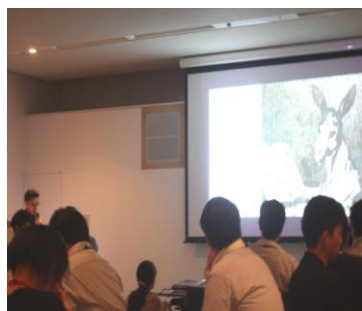
第2回塾生企画



講演：蓑 豊 館長



学芸員による説明
展示作品：澤田和子「ID400」
1998年 兵庫県立美術館所蔵



魅了を伝えるプレゼン

第3回塾生企画



講演：宮市 達也 GM兼部長



ストロータワー製作
ハンカチをのせて耐久度チェック



グループディスカッション

第4回塾生企画



講演：浦上 哲也 住職



自分にとって大切なものを考える



法話：野々部 利弘 住職

第5回塾生企画



講演：柚木 達也 部長



文化財体験：無窮洞にて



ドミノ倒しの課題に取り組む

閉塾式



講話：佐々木塾長



私にとって産政塾とは



卒業証書授与



第28期産政塾 一同

塾生一覧

No.	チーム	氏名	組織名
1	A	井上 博詞	トヨタ自動車株式会社
2		有我 茂代	フタバ産業株式会社
3		佐竹 諒一	東邦ガス労働組合
4		鈴木 雅也	ジェイテクト労働組合
5		永井 利和	愛知製鋼株式会社
6		中村 洋	株式会社アドヴィックス
7		増山 太介	トヨタ車体労働組合
8	B	伊藤 嘉昭	株式会社大丸松坂屋百貨店
9		蟹江 大樹	フタバ産業労働組合
10		竹浦 英志	東海理化労働組合
11		中路 潮美	トヨタ車体労働組合
12		二木 耕平	株式会社豊田自動織機
13		野々村 嘉朗	名古屋鉄道労働組合
14		山下 直道	株式会社ジェイテクト
15	C	小副川 優	株式会社東海理化
16		久野 啓介	トヨタ車体株式会社
17		柴田 博明	全トヨタ労働組合連合会
18		棚田 有紗	大丸松坂屋百貨店労働組合
19		永井 文人	トヨタ紡織株式会社
20		松井 秀典	中部電力労働組合
21	D	太田 寛子	株式会社デンソー
22		小倉 基揮	全労済愛知県本部
23		柴田 和通	トヨタ自動車労働組合
24		中山 真吾	トヨタ紡織労働組合
25		横井 巧	アイシン精機株式会社
26		谷口 元	豊田市役所
27	E	青木 洋憲	日本特殊陶業株式会社
28		今尾 愛理	豊田合成株式会社
29		小田 隆広	中部電力株式会社
30		斉藤 隆	豊田自動織機労働組合
31		野々村 圭祐	デンソー労働組合
32		一氏 裕也	全ユニー労働組合
33		渡部 修	アイシン労働組合

■公益事業2 教育啓蒙活動 季刊誌「産政研フォーラム」

社会・経済におけるトピックスや、企業労使の抱える諸問題をわかりやすく解説し、それらの問題解決への方向性を探る場として、毎号切り口を変えて有識者や企業の役員、従業員への取材など、幅広い情報提供に努めた。

2016年 9月	No. 111	特集『働き方改革』
2016年 12月	No. 112	特集『人材育成』
2017年 3月	No. 113	特集『人材育成2』
2017年 7月	No. 114	特集『管理監督者のリーダーシップ』

■収益事業1 調査研究 全トヨタ労働組合連合会受託研究

テーマ：「トヨタグループの強み・弱み」

～環境変化に対応可能なグループとなるために～

[趣旨]

- ・トヨタグループは、「協力企業」という言葉に代表されるように、ボデーメーカー、部品メーカーとの一体感を保ちながら盤石なトヨタグループを築いてきた。
- ・しかし、グループ内の事業再編、取引形態の多様化など、激動する環境下でトヨタグループ間の関係性にも変化が出てきていると考えている。
- ・また人口減少に伴う労働人口減少、モノづくりの自動化やIoTなどによる働き方変革により、労働者がモノに置き換わることも近未来に起きていくと予想されている。
- ・2003年中部産政研調査「トヨタグループの強み・弱み」において、「経営環境や時代の変化に対して最適な姿を求め、絶えず自分達の手で変容させていくことが可能なこと」がトヨタグループの強みとしたが、上記のような影響なども見据え、グループの企業労使が将来にわたり今後も健全に成長発展していくため、トヨタグループの強み・弱みを環境変化も踏まえ再認識の上、課題を洗い出し、具体的な方策の提言をしていく。

[研究の概要]

- ・トヨタグループの持続的な発展を考えるために、変化適応能力に焦点をあて調査し、将来に向けた課題を示唆する。
- ・過去の調査で抽出されたトヨタグループの強み弱みについて、可能な限り現状を確認する。

<関連性の強い過去調査>

- 2003年「トヨタグループの強み・弱み」
- 2009年「転換期におけるトヨタグループの現状と課題」
- 2010年「魅力ある監督職づくりと人材育成に向けた環境整備」
- 2014年「産業基盤強化に向けた人づくり・職場づくり」

〔研究の流れ〕

- ・アンケート調査及び分析
- ・調査報告書に基づく全トヨタ労連への提言内容報告

〔研究期間〕 2016年9月～2017年8月

〔研究体制〕

弘中 史子 滋賀大学経済学部 教授
寺澤 朝子 中部大学経営情報学部 教授
濱田 知美 中部大学経営情報学部 助教
粥川 正規 中部産政研 主任研究員

〔研究経過〕

2016年12月～2017年2月	アンケート展開・回収 全トヨタ労連加盟製造全組合127組合 ※組合向け：2,023部、企業向け127部
2017年3月～ 2017年4月～7月	アンケート集計・分析 報告書作成

〔報告書発行〕

2017年8月 最終報告書を委託元（全トヨタ労連）に提出